

超速硬コンクリート用パック ジェットパック

関西・中部版

ジェットパックとは

超速硬コンクリートの現場練りには、単位水量、骨材、現場計量の手間など様々な問題があります。これらの問題を一挙に解決するために使用材料のすべてを吟味・計量済のパックにしたものが「ジェットパック」です。

ジェットパックの特長

- ジェットパック用に厳選吟味された各材料は計量・包装されていますので、品質が安定します。
- 1セットあたりの練上り量は約25リットルです。
- 3時間で 24N/mm² 以上の強度が得られます。(20°C室内試験)
- 長期にわたって安定した強度を示します。
- 浮き水（ブリーディング）がほとんどなく打設後、沈下がありません。
- 材齢初期の表面ひび割れ抑制のため高機能性特殊短繊維が混入されています。

ジェットパックの用途

マンホール等の高上げ・側溝工事
伸縮装置
上下水道の配管、配線工事
機械等の据付工事等の緊急工事



※荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

被膜養生剤



スミセエスシー

プライマー



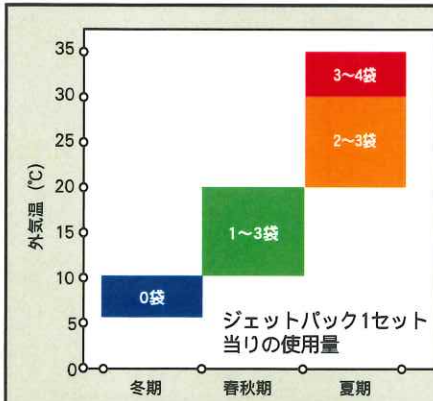
リフレトリート

ジェットパックの標準配合例

配合 (kg)	パック-1		パック-2	パック-3		練上り量 (ℓ)
	セメント	細骨材	粗骨材	水	減水剤 遅延剤 (添付)	
袋	28		27		4.0	約25

- 各パックの入れ目は製造工場によって若干変わります。
- 気温やミキサーの性能によって、練り上がりコンクリートのコンシステンシーが変化します。
- ジェットパックの標準水量は4.0kgですがスランプ変動に対応するため、パック3には4.35kgの水量が入っています。試し練り時に水量決定を行いご使用ください。
- ジェットセッターCは外気温に応じた適量をパック3に予め溶かしてご使用ください。

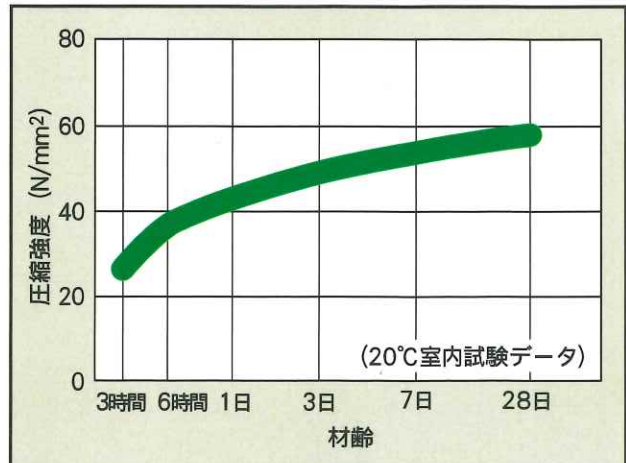
ジェットセッターC (遅延剤)の外気温別の添加率



※ジェットセッターCを使用することにより、ハンドリングタイム (可使時間) を調節することができます。グラフを参考に、試し練りにより確認してください。

注1) 他の遅延剤と混ぜないでください。
注2) 遅延剤の過剰添加は圧縮強度の低下を招きます。必ず外気温に応じて適量を添加してください。

ジェットパックの材齢と圧縮強度の関係



(20°C室内試験データ)